

平成 29 年度 第 2 回兵庫県スポーツ推進審議会

と き : 平成 30 年 3 月 6 日 (火) 10 : 30 ~ 12 : 00
と ころ : 兵庫県立ひょうご女性交流館 「501」

1 開会

2 委員・幹事紹介

3 署名委員の指名

4 前回議事録の報告

5 報告事項

平成 30 年度の事業概要について

- ① スポーツ振興課
- ② 体育保健課
- ③ 障害者支援課

6 審議事項

(1) 「平成 30 年度スポーツ振興団体に交付する補助金」について

(2) 「兵庫県スポーツ推進計画の取組を進めるための方策」について

- スポーツをする子どもの増加と体力の向上 【兵庫県スポーツ推進計画：重点目標 1】
- 成人のスポーツ実施者の増加 【兵庫県スポーツ推進計画：重点目標 2】
- 障害のある人のスポーツ参加者の増加 【兵庫県スポーツ推進計画：重点目標 4】

7 閉会

平成 30 年度の事業概要について

1 スポーツ振興課

○ 「スポーツ立県ひょうご」の実現

全ての県民がスポーツを通じて楽しさや感動を分かち合い、共に支え合う兵庫のスポーツ文化を確立することにより、一人ひとりが健康で、いきいきと暮らす社会「スポーツ立県ひょうご」の実現を目指す。

1 生涯スポーツの推進

地域におけるスポーツ活動を活性化し、誰もが参加できる生涯スポーツ大会や「スポーツクラブ 21 ひょうご」の充実及びスポーツ実施者の更なる増加を図るとともに、県民の自主的・自発的なスポーツ活動に係る諸条件の整備・支援に努め、生涯スポーツを推進する。

(1) 「関西マスターズスポーツフェスティバル」開催事業 (7,263 千円)

「ワールドマスターズゲームズ 2021 関西」開催に向け、県民誰もが参加できる「関西マスターズスポーツフェスティバル」等を引き続き開催し、生涯スポーツのすそ野を広げる。

① 総合開会式の実施

- 開催日：平成 30 年 5 月 26 日(土)
- 場所：神戸しあわせの村(予定)

② 競技別大会の開催

- 実施時期：平成 30 年 4 月～31 年 3 月
- 場所：県立三木総合防災公園ほか県内各地で開催
- 競技：グラウンド・ゴルフ等 計 51 競技(予定)

③ 「ひょうご de スポーツ推進月間」の展開

- 街頭キャンペーンの実施
実施時期：平成 30 年 10 月(予定)
場所：県下 10 箇所
- スポーツ推進フォーラムの開催
開催日：平成 30 年 10 月 21 日(日)
場所：丹波市立ライフピアいちじま(予定)

④ 生涯スポーツ指導者等の充実

- 生涯スポーツ指導者地区別研究会
実施時期：平成 30 年 5 月～12 月
対象者：スポーツ推進委員、スポーツクラブ 21 ひょうご関係者等
- スポーツ推進委員中央研究協議会
開催日：平成 30 年 10 月 21 日(日)
場所：丹波市立ライフピアいちじま(予定)

(2) 兵庫県スポーツ推進審議会 (276 千円)

県民のスポーツ振興に関する重要事項について調査審議する。

実施時期：平成 30 年 9 月（予定）、平成 31 年 3 月（予定）

(3) 「スポーツ立県ひょうご」創出プロジェクト事業 (2,921 千円)

生涯スポーツの核となる「スポーツクラブ21ひょうご」について、全県スポーツ大会等を通じてクラブの連携を促進するとともに、活動の活性化等を図るなど自主自立に向けた取組を支援する。

① 推進会議の開催

○ 内 容 クラブの現状及び課題解決に向けた協議

② 全県スポーツサミットの開催

○ 対 象 スポーツクラブ代表者、スポーツ推進委員、企業・大学関係者 等

○ 内 容 情報交換、事例発表 等

③ 「スポーツ立県ひょうご」創出プロジェクト

だれもが生涯にわたってスポーツを楽しむことができる環境づくりに向け、各地区において「スポーツクラブ 21 ひょうご」が取り組む。

○ 大学や企業と連携したスポーツイベント等の開催

○ 障害者スポーツと連携したスポーツ教室等の開催

○ 親子で行うスポーツ大会やスポーツフェスティバル等の開催

(4) ひょうご・ロシアハバロフスク青少年スポーツ交流事業 (1,778 千円)

友好提携 40 周年を機に、兵庫県とハバロフスク地方とのスポーツ交流を行うことにより、両県交流の更なる発展を図る。

交流期間：平成 30 年 8 月（5泊6日）（予定）

内 容：スポーツを通じた国際交流、ロシア文化体験 等

(5) 兵庫県山の遭難対策協議会 (11 千円)

山の遭難の未然防止および救援対策を協議する。

実施時期：平成 30 年 6 月、11 月（予定）

(6) 【新】「ワールドマスターズゲームズ 2021 関西」への参加促進 (41,574 千円)

ワールドマスターズゲームズ 2021 関西の機運醸成及び参加促進に向けた取組を実施する。

① 兵庫県実行委員会の運営

○ 各種会議の開催 実行委員会総会、専門委員会、合同連絡会の開催

○ 広 報 のぼりの掲示やホームページによる大会広報

② 1000 日前イベントの実施

< 県実行委員会 >

○ 実施時期 平成 30 年 8 月（予定）

○ 内 容 ・著名なプロ選手等によるスポーツ教室や講演会等

・既存の競技大会を活用し、各競技でスポーツ教室等を開催

< 市町実行委員会 >

○ 内 容 大会の PR イベントや開催競技の体験会等の開催を支援

○ 対 象 10 市町

③ アジアパシフィックマスターズゲームズ (APMG) 2018 ペナン大会における PR 活動等

- APMG2018 ペナン大会視察及び PR 活動
大会視察及びワールドマスターズゲームズ 2021 関西兵庫県開催競技種目の PR 活動
- APMG2018 ペナン大会への県民の参加促進
 - ・ 内 容 ・大会広報
 - ・ シンボルアスリート (オリンピック・元プロ選手等) の派遣 (交流団ゲストとして、現地でのスポーツ教室や競技応援等で参加者と交流)

④ ひょうご女性スポーツの会 (仮称) の設立

ワールドマスターズゲームズ2021関西への参加を促進するとともに、女性のスポーツ環境の向上、女性スポーツ人口の増加を目指し、ひょうご女性スポーツの会 (仮称) を設立する。

- 準備委員会の開催 平成30年4月～
- 設立総会 平成30年12月 (予定)

⑤ ワールドマスターズゲームズ2021関西参加促進事業

ワールドマスターズゲームズ2021関西大会への県民参加促進のため、地域企業及び大学とスポーツクラブ21ひょうご (SC21) との連携チーム設立支援やワールドマスターズゲームズ2021関西大会開催競技 (団体競技) の新チーム設立支援等を実施

- 企業・大学とSC21の連携強化及びSC21新規会員獲得支援
企業・大学に所属する社会人とSC21による混合チーム設立を支援
 - ・ 補助対象 運動用具等経費 (上限200千円)
 - ・ 補助件数 25チーム
- ワールドマスターズゲームズ2021関西大会の開催競技人口増加に向けた取組
SC21会員が、現在取り組んでいる競技とは別に、新たにワールドマスターズゲームズ2021関西大会開催競技 (団体競技) に取り組む場合の新チーム設立を支援
 - ・ 補助対象 運動用具等経費 (上限200千円)
 - ・ 補助件数 50チーム

(7) 【新】「第2回 関西シニアマスターズ大会兵庫大会」の開催 (6,650千円)

関西の中・高年層のスポーツ愛好家が参加できる「第2回関西シニアマスターズ大会兵庫大会」を関西広域連合と共同で開催する。

- ① 主 催 関西広域連合、兵庫県
- ② 実施時期 平成30年9月～11月
- ③ 場 所 神戸総合運動公園 他
- ④ 参加者 約3,000人 (予定)
- ⑤ 競 技 7競技
サッカー、テニス、ソフトテニス、卓球、ゲートボール、グラウンド・ゴルフ、ペタンク

2 競技スポーツの推進

(公財) 兵庫県体育協会及び各競技団体と連携して、選手発掘からトップアスリート育成までの系統的な指導体制を構築するとともに、本県の競技力向上に努め、オリンピックや国際大会等で活躍する選手を育成し、県民スポーツの推進に寄与する。

(1) 【拡】第2期新兵庫県競技力向上事業（世界にはばたけ兵庫プロジェクト）（226,048千円）

2020年に開催される「東京オリンピック・パラリンピック」を見据え、トップアスリート層の拡大、ジュニア選手の発掘・育成、若手指導者の資質向上を図るため、選手の発掘からトップアスリートの育成までの系統的な指導体制の構築を目指す。

〔選手強化事業〕

① 未来のスーパーアスリート支援事業

国際大会や全国大会に出場する中高生・大学生等を擁する競技団体に選手強化方策等を提案させ、高い効果が期待できる取組に対して支援を行う。

○ スーパーアスリート養成

- ・ 事業内容 トップチーム・指導者を招聘しての合宿練習会 等

○ 医・科学サポート

- ・ 事業内容 フィジカルトレーニング、栄養学の直接指導等

○ 能力発掘・育成

- ・ 事業内容 競技人口が少なく、中学生から競技に取り組んでもトップを目指すことができる競技を対象に、競技転向型の発掘・育成を実施

② 重点競技強化事業

好成績が期待できる競技を特別強化競技に指定し、重点的に支援するほか、国体競技以外のオリンピック競技に対して支援する。

○ 特別強化対象競技（13競技）

ウエイトリフティング、陸上競技 等

○ オリンピック対象強化競技（5競技）

自転車女子、ラグビー女子 等

③ 一般強化事業

41競技団体の競技力向上に向けた取組を支援する。

④ 選手サポートプログラム

大学研究機関と連携し、能力トレーニングの開発及び測定を実施する。

⑤ 指導者養成プログラム 等

高い競技実績を誇る国等へ指導者を派遣し、調査・研究を実施する。

⑥ 【新】国民体育大会 団体競技強化プロジェクト

国体競技別総合成績で常時入賞している他府県の強豪チームとの強化試合・合宿や県内練習会を実施し、国体団体競技の強化を図る。

○ 対象競技団体

得点実績や戦績等を鑑み、団体競技において得点が期待できる競技種別

〔選手育成事業〕

① タレント発掘事業等

○ ひょうごジュニアスポーツアカデミー（4年生以上の小学生対象）

- ・ 大学や関連スポーツ団体との連携による継続した育成、オリンピック選手等

を講師とするスポーツ教室の実施等

② 育成・すそ野拡大事業

○ ジュニアスポーツ教室（小・中学生対象）

- ・ 才能ある選手を発掘・育成するための合同練習会の実施

③ ジュニア層を対象としたトップアスリート等による特別強化事業

将来、国体等で活躍が期待される中学生を対象に、トップアスリート等からの集中的なレッスンによる特別強化を実施

④ 指導者育成・広報等

若手指導者を中央競技団体等が主催する研修へ派遣

(2) 県民体育大会の開催及び国民体育大会への派遣（39,009千円）

名 称	実施時期	場 所	対 象
第72回兵庫県民体育大会	4月～3月	県内	競技種目選手
第73回国民体育大会	9月9日(日)～17日(月) 9月29日(土)～10月9日(火)	福井県 他	県代表選手
第74回国民体育大会 冬季大会	スケート・アイスホッケー競技 1月30日(水)～2月3日(日) スキー競技 2月14日(木)～17日(日)	北海道 釧路市 札幌市	

(3) 兵庫県スポーツ優秀選手賞表彰

オリンピックや世界選手権等の国際大会、また、国内大会等において優秀な成績を収めた本県のスポーツ選手を讃える。

開催時期：平成31年2月（予定）

(4) 【拡】東京オリンピック・パラリンピック応援事業（10,379千円）

東京オリンピック・パラリンピック事前合宿を積極的に招致し、県のスポーツ振興や地域活性化等を推進する。

① 情報発信

- ・ 招致パンフレット及びウェブサイト「兵庫県スポーツ施設案内」（日本語・英語・フランス語・中国語・ポルトガル語）を活用した情報発信

② 招致活動

- ・ 県、市町の姉妹・友好連携州・都市等を通じた働きかけ
- ・ 中央競技団体を通じた各国競技団体へのアプローチ
- ・ 本県ゆかりのアスリートやスポーツ有識者を通じた招致活動
- ・ 海外からの視察受入れ

③ 【新】フラッグツアーの開催

リオ2016大会で引き継いだオリンピックフラッグ、パラリンピックフラッグの巡回展示を実施し、東京2020大会に向けた機運醸成を図る。

- ・ 兵庫県フラッグ歓迎イベントの開催（平成30年7月26日～8月23日）

④ 【新】聖火リレー実行委員会の設立

(5) はばタンスポーツ基金活用事業（6,000千円）

「はばタンスポーツ基金」を活用した運営費の補助により、国際大会及び全国規模の大会を誘致し、本県の競技力の向上に資するとともに、県民に質の高い競技を観戦する機会を提供する。

3 第8回神戸マラソンの開催

(85,300千円：負担金 67,800千円、ふるさとひょうご寄附金：17,500千円)

県民スポーツの振興を図り、震災の復旧・復興における支援への感謝、兵庫・神戸の魅力国内外に発信するため、定員2万人の都市型フルマラソンとして「第8回神戸マラソン」を神戸市と共同で開催する。

(1) 大会概要

① 期 日 (予定)

ア ランナー受付・EXPO 平成30年11月16日(金)、17日(土) 神戸国際展示場
イ 大会 平成30年11月18日(日)
9:00～スタート(ウェーブスタート) 16:00 終了

② テーマ 「感謝と友情」 キャッチフレーズ：「ありがとう」の42.195 km

③ 種 目 マラソン(42.195 km) (定員：20,000人) 制限時間：7時間

④ コース スタート：神戸市役所前
折り返し：明石海峡大橋の西方(垂水区西舞子1丁目付近)
フィニッシュ：ポートアイランド市民広場付近

⑤ 主 催 兵庫県、神戸市、兵庫県教育委員会、神戸市教育委員会、
一般財団法人兵庫陸上競技協会

⑥ 共 催 神戸新聞社、朝日新聞社

⑦ 企画運営 神戸マラソン実行委員会

⑧ 主 管 一般財団法人兵庫陸上競技協会

(2) 第8回大会の重点取組

神戸マラソン中期計画(第10回大会までの目標)を踏まえた取組の推進

① ランナー2万人に対応した安全・安心な大会運営の推進

ア ウェーブ(時間差)スタートの改善(継続)

(目的) スタート時やコース途中の混雑緩和

(内容) 記録に応じたウェーブスタートの細分化の検討

イ 警備・救護体制の充実(継続)

(目的) テロ・災害・大事故、重症事案(心肺停止等)への対応

(内容) ①緊急時対応訓練の継続

②関係者の役割分担の確認と相互連携の強化

② 挑戦するランナーを支援する出場枠・表彰の設定等 [チャレンジマインド]

ア 出場枠・表彰の設定

(ア) 神戸マラソン応援ランナー枠(先着350人)(拡充)

(目的) 市民ランナーがトップランナーと共に走れる魅力的で質の高い大会づくりなど、オンリーワンの都市型マラソン実現のため、大会の質向上を目的としたコース改善、国際エリートランナーの招聘等を行う

(内容) 兵庫県又は神戸市に10万円以上のふるさと納税をした者に出走権を進呈

(イ) その他の特別枠と表彰制度（継続）

- ・ シード枠（約 400 人）：第 7 回大会成績上位者の参加促進
- ・ 年代別チャレンジ枠（2,000 人）：各年代のランナーモチベーションを向上
- ・ 神戸マラソン初出場枠(2,000 人)：神戸マラソン初挑戦ランナーを応援
- ・ 連続入賞者表彰制度：総合・年代別の 3 年連続入賞者を表彰

イ ランナーマナーの向上

(ア) 環境整備（継続）

- ・ (目的) スタートブロックでの前方割り込み防止 (内容) プラフェンスの設置
- ・ (目的) 走行中の給水紙コップポイ捨て防止 (内容) ゴミ箱の増設・大型化

(イ) 啓発活動（継続）

(目的) 大会の質の向上

(内容) ①大会ホームページ、参加案内、EXPO で啓発

②大会当日スタート直前にボランティアによるマナーアップ隊の啓発

ウ エリートランナーの招聘（拡充）

(目的) 大会の質と国際的認知度の向上

(内容) 国際陸上競技連盟による世界の主要ロードレースラベル格付け「ブロンズラベル」を第 8 回大会から取得

③ 震災復興の教訓と感謝を国内外に発信 [ボランティアマインド]

ア スタートセレモニー（継続）

- ・ 黄色の手袋を着用してランナー「2 万人で咲かせる『感謝と友情』のひまわり」
- ・ 合唱「しあわせ運べるように」

イ コース沿道（継続）

黄色の手袋や応援グッズを使ってボランティアや沿道応援者等「みんなで咲かせる『感謝と友情』のひまわり」

ウ 将来の神戸マラソンを支えるサポーターの育成（新規）

神戸マラソンファンクラブ（仮称）の設立検討

④ 大会の魅力化・ブランド化の推進 [ホスピタリティマインド]

ア 兵庫・神戸の特性を活かした企画（継続）

ファッション・ジャズ・グルメ・スイーツ等の発信強化

イ 大会認知度の向上に向けた広報の展開（継続）

- ・ 「神戸マラソン・シリーズイベント」に認定した地域のイベントやランニング大会等と連携した大会の PR
- ・ 大会ホームページ、ランニング専門誌、SNS 等での効果的な広報

ウ 海外居住者の参加促進

- ・ 神戸観光局と連携した JNTO（日本政府観光局）海外事務所への大会情報の発信（継続）
- ・ 海外のランニング専門誌、SNS 等での効果的な広報（継続）
- ・ 海外居住者のエントリーの先着制・期間延長（継続）
- ・ 海外ランナーエントリー時の宿泊予約・ツアーの造成（継続）

2 体育保健課

○ 体育・スポーツ活動の推進

1 基礎体力づくりの推進

(1) 「体カアップひょうご」サポート事業の実施 (5,687千円)

「運動プログラム」(DVD)の更なる活用を促進するとともに、小学校のニーズに応じた体カアップサポーターを派遣し、体育授業及び学校体育活動における体育・スポーツ活動を支援し、児童の体力・運動能力の向上を図る。また、県下児童生徒の体力・運動能力等の調査を行い、その実態を把握し、今後の施策の基礎資料を得る。

① 体カアップサポート専門家会議の開催 (7月・12月・3月)

② 小学校への体カアップサポーターの派遣

対 象：小学校 約70校

③ 「体カアップスクール表彰」の実施

対 象：体力向上に積極的に取り組み成果を上げた小・中学校10校程度

④ 体力・運動能力調査統計事業の実施

対 象：小・中・高校生 約30,000人

実施時期：平成30年5月～7月

2 学校体育の指導

学習指導要領の趣旨の徹底と指導方法の研究を深め、心身ともにたくましく、活力ある生徒を育成するため、年次計画により県立高等学校を訪問し、学校体育の実態把握と学校指導の充実を図る。

また、各種講習会を開催し、指導力の向上を図る。

(1) 県立高等学校訪問指導の実施

対 象：約30校

実施時期：平成30年5月～11月

(2) 学校体育に関する講習会、協議会の開催

名 称	実施時期	場 所	対 象
県立学校体育主任会	5月9日	兵庫県民会館	県立学校体育主任
中学校保健体育担当教員 連絡協議会 兼学校体育安全講習会	5月16日	兵庫県民会館 けんみんホール	県内公立中学校 体育教員等
学校体育実技(武道) 認定講習会	8月1日～3日	県立武道館	(柔道)
	8月15日～17日	県立武道館	(剣道)
学校体育実技指導者講習会	10月10日～11日	県立総合体育館	幼・小・中・高校 保健体育担当教員
学校ダンス研究発表会	11月15日	たんば田園交響ホール	幼・小・中・高校 体育担当教員

(3) 幼稚園・小学校教員体育実技指導力向上事業

幼稚園教員及び小学校教員を対象にした体育実技講習会を実施し、指導内容及び指導方法の研修を行い、指導力の向上を図る。

実施時期：平成30年5月～12月

場 所：県内5ブロック単位

(4) 武道・ダンス指導者の養成等指導力の向上 (3,020 千円)

中学校学習指導要領を踏まえ、中学校教員を対象にした武道・ダンスの実技講習会を実施し、指導力の更なる向上を図る。

実施時期：平成 30 年 8 月

場 所：県立武道館

(5) 第 56 回県学校体育研究発表大会の開催

学校体育の実践発表を通して、県内各地区、各校種間の交流と連携を図ることにより、教職員の資質向上と体育・保健体育指導の理解を深める。

実施時期：平成 31 年 2 月 5 日

場 所：兵庫県民会館

(6) オリンピック・パラリンピック・ムーブメント展開事業 (4,082 千円)

本事業の「教育推進校でのオリンピック・パラリンピック教育」を展開し、学校の実情や実態に応じて、多面的な観点（する・みる・支える・知る）から、主体的にスポーツの価値を深め、規範意識の涵養、国際・異文化理解、共生社会への理解等に取り組む、オリンピック・パラリンピック教育等の体制整備を図るとともにその成果を広く情報共有する。

① 教育推進校の指定

指定校数 13 校〔小学校及び中学校から 6 校、県立高等学校から 7 校〕

指定期間 指定のあった日から平成 31 年 1 月 31 日まで

② 事業経費について

予算の範囲内（13 万円程度を予定）で事業に要する経費を委託費として支出する。
（諸謝金※、旅費、借損料、印刷製本費、消耗品費、会議費、通信運搬費、雑役務費、消費税相当額）

※ 諸謝金の上限：100,000 円（予定）

県教育委員会が認めた、兵庫県ゆかりのオリンピック・パラリンピアンを「ひょうごグローバルアスリート（仮）」として上記金額を上限とする。

3 運動部活動等への支援

(1) 運動部活動専門家会議の設置

指導力向上研修の内容や外部指導者の派遣効果等を評価・検証する。

構 成：学識経験者、外部指導者、高体連・中体連関係者等

回 数：3 回

内 容：専門的技術指導が困難な運動部顧問の実態や外部指導者の活用状況等について調査内容の検討や外部指導者派遣について評価・検証など

(2) 運動部活動活性化推進事業 (8,244 千円)

専門的な技術指導を受けられない生徒のために、外部指導者を派遣し、運動部活動における生徒の技術向上や生徒が主体的に取り組むことができるようにすることにより運動部活動の活性化を図る。

さらに、専門的な技術指導が困難な運動部顧問を対象に、指導者養成に知見を有する上級指導者による指導力向上研修会を開催するとともに、指導法をまとめた動画を作成・発信することにより、指導力の向上を図る。

① 外部指導者派遣事業 県立高等学校運動部へ約 55 名

② 指導力向上研修会

指導者養成に知見を有する上級指導者による研修会を実施するとともに、指導法をまとめた動画を作成・発信し、指導力の向上を図る。

(3) 中学校部活動指導員配置事業 (28,224 千円)

平成30年度から適切な練習時間や休養日の設定など部活動の適正化を進めている市町組合教育委員会を対象に、部活動指導員（学校教育法施行規則第78条の2に該当する者）の配置に係る経費の一部を補助することで、顧問の支援を行うとともに、公立中学校における指導体制の充実を推進し、部活動の質的な向上を図る。

① 補助要件

- ア 事業主体が、学校教育法施行規則に定める部活動指導員を雇用する事業であること。
- イ 事業主体が、スポーツ庁が策定予定の「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン（仮称）」を遵守すること。
- ウ 当該学校において、上記のガイドラインに沿った部活動運営がなされること。
- エ 当該学校における教員の勤務時間（特に部活動指導従事時間）を客観的に把握して報告すること。

② 補助対象経費

- ア 報酬・賃金、報償費で上限額は1,600円/時間（社会保険料（本人負担分に限る。）を含む。）
- イ 交通費・旅費は補助対象外

③ 補助割合

- ア 国1/3、県1/3、市町1/3
- イ 補助金交付要綱に基づいて、国の補助金認定額を補助する。

④ 補助期間

上記のガイドラインの趣旨を定着させるため、同一校かつ同一部活動での活用は、最長3年とする。

(4) 県立高等学校運動部指導者表彰

運動部活動の強化と活性化を図るため、運動部の振興発展に功績が顕著な指導者を表彰する。

対象：全国高等学校総合体育大会や全国高等学校選抜大会等に初出場及び著しく功績のあった運動部活動の指導者

実施時期：平成31年3月

(5) 総合体育大会の開催支援 (5,921 千円)

各種大会を援助し、スポーツの振興と競技力の向上を図る。

【大会等一覧】

名 称	実施時期	場 所
県 中 学 校 総 合 体 育 大 会	7月25日～7月30日	淡 路 地 区 他
県 高 等 学 校 総 合 体 育 大 会	6月2日～6月10日	神 戸 常 盤 ア リーナ 他
全 国 中 学 校 体 育 大 会	8月17日～8月25日	中 国 ブ ロ ッ ク
全 国 高 等 学 校 総 合 体 育 大 会	7月28日～8月20日	東 海 ブ ロ ッ ク

○ 児童生徒等の健康教育・安全教育の充実

1 保健管理・保健指導の推進

社会環境の変化に伴い、健康問題等も多様化し、その対応には一層の配慮が必要とされる。そこで、学校保健安全法に基づく幼児・児童生徒の保健管理や保健指導を徹底させるため、保健部長・養護教諭・学校医等を対象とした研修会・講習会を開催し、その資質や指導力の向上に努める。

一方、幼児・児童生徒の健康の保持増進を図るため、健康診断を実施し、実態把握に努め、適正な管理・指導を推進する。

(1) 県立学校訪問指導の実施

対 象：約 30 校

実施時期：平成 30 年 5 月～11 月

目 的：学校保健の実態を把握し、保健安全指導の充実を図る。

(2) 保健に関する講習会、研修会等の開催

名 称	実施時期	場 所	対 象
近畿学校保健主事研究協議会兵庫県大会 (兼兵庫県学校保健主事・担当者研究協議大会)	8月2日	三田市総合文化センター	小・中・高・特別支援学校保健主事・学校保健担当者
兵庫県学校保健研究協議大会	11月15日	稲美町文化会館コスモホール	学校保健・学校給食担当者
養護教諭研修会	4月～3月	県内各地	小・中・高・特別支援学校養護教諭
薬物乱用防止教室講習会	未定	未定	小・中・高・特別支援学校薬物乱用防止教育担当者等
エイズ教育研修会	未定	未定	小・中・高・特別支援学校性教育担当者等
健康教育研修会	未定	未定	小・中・高・特別支援学校管理職、教職員等
学校歯科保健研修会	9月～3月	県内3会場	学校歯科医
学校医研修会	9月～3月	県内4会場	学校医・学校保健担当者

(3) 児童生徒等の健康診断の実施 (57,628 千円)

児童生徒等の健康の保持増進を図るため、各学校において毎年4月～6月の間に実施する。

(4) 学校健康教育強化事業 (2,477 千円)

① スクールヘルスリーダー派遣事業

心身の健康問題の複雑化・多様化により特別な配慮・医療機関等との連携を必要とする子どもに対応し、経験の浅い養護教諭の配置されている学校等を支援するため、経験豊かな退職養護教諭をスクールヘルスリーダーとして学校へ派遣する。

ア スクールヘルスリーダー（退職養護教諭）の派遣

- ・ 養護教諭未配置校への派遣
- ・ 経験の浅い養護教諭配置校への派遣

イ 協議会の開催

② 学校における現代的な健康課題解決支援事業

児童生徒の現代的健康課題に対応する体制づくりを推進するため、学校・家庭・地域の関係機関等からなる「学校保健支援チーム」を設置し学校保健の課題解決に取り組む。

ア 協議会の開催

イ 研修会等への支援チーム（専門医等）の派遣

③ 薬物乱用防止教室推進事業

薬物乱用防止教室講習会の開催

回数：3回（県内3箇所）

内容：薬物乱用防止教室の開催を推進するため、指導者に対しての講習会を実施

(5) がん教育総合支援事業（1,000千円）

学校教育全体の中でがん教育を推進するため、今後のがん教育のあり方について検討するとともに、がん教育の推進体制の構築を図る。

① がん教育に関する協議会の開催

構成：学識経験者、医師会代表、学校保健会関係者、県行政関係者

内容：がん教育の計画及び指導、推進校の取組検証及び次年度計画への反映

② 学校保健関係者に対する研修会の開催

③ 推進校の設置

対象：公立小学校・中学校・高等学校 各2校（未定）

内容：専門家等による講演会、講演のための事前授業、生徒意識調査等

2 安全教育の推進

交通安全、防犯等に関する指導力の向上を図るとともに、校舎内外の施設・設備・通路等々の安全点検を徹底し、学校管理下における事故防止に努める。

(1) 学校安全総合支援事業（2,886千円）

児童生徒自身に安全に対する知識や能力を身につけさせる安全教育の充実や、防犯・交通安全などの学校安全管理体制の構築を図る。

① 希望する市町の学校安全推進のための取組を支援

実施箇所：市町立小・中・特別支援学校9校及び県立学校1校

内容：学校安全に関する科学技術等を活用した取組を支援
学校安全への専門的指導を行うアドバイザーの派遣支援 等

② 研究成果発表会の開催

回数：各推進校1回

内容：学校安全推進に関わる取組の成果発表

③ 学校安全対策会議の開催

回数：1回

内容：各市町教委が実施している学校安全対策への情報共有

④ 学校安全教室講習会の開催

回数：2回

内容：学校安全教室の開催を推進するため、指導者に対し講習会を実施

3 学校における食育の推進と学校給食の普及充実

学校教育活動全体で取り組む食育を実践するため、「学校における食育実践プログラム（改訂版）」を基本に「食育ハンドブック」や「ひょうごの食べ物資料集」等を活用し、食育を推進する方向性や手法、具体例を示すための研修会を開催するなど、県学校給食・食育支援センター等とも連携しながら、全ての学校でのより充実した食育の推進を図る。

また、食事内容の多様化と望ましい食習慣の形成に配慮した学校給食の充実に努める。

(1) 学校教育活動全体で行う食育の推進（957千円）

① 食育実践推進に関する有識者会議の設置

教育活動全体を通じて行う食育実践方法を検討するとともに、その周知を図る。

② 学校給食衛生管理推進研修事業

学校における食育の「生きた教材」としての学校給食を充実させるため、学校給食調理従事者及び栄養教諭等の資質向上を目的とした研修会を実施する。

実施時期：平成30年7～8月

場 所：丹波地区・播磨東地区・播磨西地区・但馬地区・淡路地区

③ 第69回全国学校給食研究協議大会の開催

学校給食を中心とした食育の在り方を協議し、兵庫県の食育推進を図る。

実施時期：平成30年11月29日～30日

場 所：（全体会）神戸芸術センター

（8分科会）神戸国際会議場、神戸商工会議所

(2) 栄養教諭実務研修会の開催

実施時期：平成30年11月

場 所：神戸市

(3) 学校給食の指導及び調査

学校給食の実態を把握するとともに、学校給食の充実に努める。

学校給食施設の衛生管理等に関する状況調査を行うとともに、衛生管理の徹底が図られるよう改善指導を行う。（文部科学省「学校給食の衛生管理等に関する調査研究」）

(4) 県学校給食・食育支援センター（県体育協会）の運営指導

学校給食用物資供給体制の整備及び学校給食の普及充実に努めるとともに、市町・学校等の食育推進に対する支援を行う。

設置場所：兵庫県加東市山国 2007

(5) 米飯給食・地場産物活用の推進

週当たりの米飯回数において、全ての市町が3回以上となることを目標に米飯給食を推進するとともに、学校給食における地場産物の活用を推進する。

○ 県立学校体育施設開放の充実

地域のスポーツ・レクリエーション活動の場として県立学校の体育施設の開放を行う。

【学校体育施設開放予定校】

市 町 名	学 校 名	市 町 名	学 校 名	
神戸市	御影	稲美町	いなみ野特別	
	神庫	三木市	三木東川	
	神鈴	小野市	三吉野	
	神甲	加東市	小野社	
	神戸	西脇市	西脇工業	
	神北		西脇工業	
	星陵	多可町	多可北はりま特別	
	北磨		姫路東島	
	舞子	姫路市	姫路別所南干西工業	
	伊川谷		姫路飾工	
須磨友が	姫路商			
須磨友が	香夢			
兵庫工業	姫路しらさぎ特別			
神戸商特別	たつの市		龍野北野	
尼崎			赤穂市	赤穂
尼崎稲工			福崎町	福崎
西宮市	西宮		神河町	神崎
	西宮今		上郡町	上郡
	西宮甲	佐用町	佐用	
芦屋市	芦屋特別	宍粟市	山崎和種	
	伊丹市		伊丹	
伊丹市	伊丹西陽	太子町	太子	
	阪神	篠山市	篠山産業雲鳴	
宝塚	篠山鳳			
川西市	篠山			
猪名川町	猪名川	丹波市	柏氷上特別	
三田市	有田西馬		豊岡市	豊岡総岡合高別
	三北三	和生田山特別		
	三田祥雲	和生田山特別		
明石市	明石石北	養父市	八但馬農	
	明石石南		香美町	香美住岡
加古川市	加古川西	新温泉町	浜坂	
	加古川工業		洲本市	洲本実業別
高砂市	高砂南	淡路市		淡路
	高砂陽		南あわじ市	淡路三原
播磨町	播磨特別	計		116校
	播磨特別			
加西市	北播磨農業	三木市	三木北東	
	三木北東			

○ 体育施設の整備及び管理運営（618,903千円）

青少年をはじめ広く県民の心身の健全な発達と健康で文化的な生活の向上に寄与するため、県民の体力づくりの場として、手軽に利用できる健康増進のための施設を運営し、その整備を図る。

また、市町における体育施設の整備促進を図るため、国の学校施設環境改善交付金の調整を行う。

（参考）所管施設一覧表

名称	所在地 (電話)	施設の概要	宿泊定員	休館日	指定管理者 (指定管理期間)
県立総合体育館	西宮市鳴尾浜1-16-8 (0798-43-1143)	大・中・小体育室、格技室、トレーニング室、宿泊室、研修室、ランニングデッキ	400人	年末年始、月曜休館 (繁忙期は開館)	ひょうごエールネスライフグループ (H27～31)
県立文化体育館 (神戸常盤アリーナ)	神戸市長田区蓮池町1-1 (078-631-1701)	多目的ホール、小ホール、研修室・会議室、トレーニング室、プール、体育室	—	年末年始、第1月曜休館	ミズノグループ (H28～32) 【ネーミングライツ 実施施設】 学校法人玉田学園 (H29～31)
県立海洋体育館	芦屋市浜風町30-2 (0797-32-2255)	管理棟、艇庫(2)、陸置場、貸出用ヨット・カヌー・ボート	—	年末年始、月曜休館 (繁忙期は開館)	(公財)兵庫県体育協会 (H27～31)
県立円山川公苑	豊岡市小島1163 (0796-28-3085)	美術館、会議室、プール兼スケート場、貸出用ボート、芝生広場	—	年末年始、月曜休館 (繁忙期は開館)	兵庫県体育協会 円山川公苑グループ (H28～32)
県立奥猪名健康の郷	川辺郡猪名川町杉生字奥山1-22 (072-769-0485)	管理棟、体育館、ロッジ(5)、テニスコート(2)、フィールドアスレチック、イベント広場	182	年中無休	奥猪名みらい 創造プロジェクト (H28～32)
県立武道館	姫路市西延末504 (079-292-8210)	グローリー道場、帝京科学大学道場、展示・情報コーナー、トレーニングルーム、研修室	—	年末年始、月曜休館 (繁忙期は開館)	兵庫県体育協会 県立武道館グループ (H28～32)
県立兔和野高原 野外教育センター	美方郡香美町村岡区宿791-1 (0796-94-0211)	管理棟、宿泊棟(184人定員)、体育館、食堂・浴室棟、野外学習棟、運動広場、キャンプ場(第1～第4)木の殿堂、自然とのふれあいの森	644	年末年始休館 (木の殿堂は月曜休館)	香美町 (H28～30)
県立弓道場	明石市明石公園1-27 (078-913-0501)	近的10人立・遠的6人立射場兼管理棟、あづち、矢取道	—	年末年始、月曜休館	(公財)兵庫県体育協会 (H27～29)
県立神戸西テニスコート	神戸市西区玉津町森友7-1 (078-924-4544)	テニスコート(7)、クラブハウス	—	年末年始、第1火曜休園	(株)ITC (H28～32)

3 障害者支援課

1 障害者のスポーツ活動等の推進

障害者スポーツの振興

「のじぎく兵庫大会」（第6回全国障害者スポーツ大会）を記念したスポーツ大会の実施等により、障害者スポーツの振興を図るとともに、障害者の社会参加と県民の障害者への理解を促進する。

(1) 第12回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会の開催（4,624千円）

平成30年度開催計画

開催期日	実施競技等		開催場所
	競技	対象	
4月29日(日)	陸上競技 フライングディスク	車いす使用者	神戸市
5月18日(金)	一般卓球	精神障害者	神戸市
5月19日(土)	一般卓球	身体・知的障害者	
5月20日(日)	水泳	身体・知的障害者	三木市
5月26日(土)	陸上競技	身体・知的障害者	
	フライングディスク	身体・知的・精神障害者	
	ソフトボール サッカー	知的障害者	
5月27日(日)	バスケットボール	知的障害者	神戸市
	バレーボール		
	ホウリング		
6月1日(金)	サウントテーブルテニス	視覚障害者	
11月16日(金)	バレーボール	精神障害者	

(2) 県立障害者スポーツ交流館等の運営（35,761千円）

障害者スポーツの振興拠点として「県立障害者スポーツ交流館」及び「ふれあいスポーツ交流館」を運営する。

① 県立障害者スポーツ交流館

設置場所：県立総合リハビリテーションセンター内

施設内容：体育室（バスケットコート2面）、トレーニングルーム、更衣室、屋内駐車場

② ふれあいスポーツ交流館

設置場所：県立西播磨総合リハビリテーションセンター内

施設内容：体育室、温水プール、トレーニングルーム、更衣室

(3) 第18回全国障害者スポーツ大会「福井しあわせ元気大会」への選手派遣・育成 (16,032千円)

福井県で開催される第18回全国障害者スポーツ大会「福井しあわせ元気大会」に兵庫県選手団を派遣するとともに、派遣選手の競技力向上のため、育成強化を図る。

大会期間：平成30年10月13日（土）～15日（月）

開催場所：福井県営陸上競技場ほか

委託先：公益財団法人兵庫県障害者スポーツ協会

派遣人数：約170名（予定）

(4) 第30回全国車いすマラソン大会の開催 (4,274千円)

車いすマラソンを通じて、体力の維持増進、社会参加意欲の高揚を図るとともに、広く県民の参加のもとに障害者に対する理解を深める。

開催日：平成30年9月30日（日）

開催場所：篠山城跡マラソンコース

委託先：公益財団法人兵庫県障害者スポーツ協会

(5) 「はばタンスポーツ基金」事業の実施 (2,099千円)

のじぎく兵庫国体・のじぎく兵庫大会を記念して造成された「はばタンスポーツ基金」の運用収入を活用し、競技別全国大会への派遣及び競技団体設立等の支援を行う「はばタン障害者スポーツ振興事業」を実施する。

実績：29件（平成28年度）

(6) 「スペシャルオリンピックス支援・ひょうごトーチラン2018」の実施 (500千円)

スペシャルオリンピックス活動への理解促進と、学生ボランティア等の障害者支援のための人材育成、全国大会に兵庫県から出場するアスリートの応援等を目的として、トーチランの開催を支援する。

開催時期：平成30年秋頃

(7) 「障害者スポーツ推進プロジェクト」の実施 (39,903千円)

2020年に開催される東京パラリンピックに向け、障害者スポーツの普及啓発、スポーツを通じた障害のある方の社会参加を促進する。

① (拡) ワールドマスターズ・パラリンピック推進事業

- ・(拡)参加型イベントの開催

しあわせの村スポーツフェスティバルや国際義肢装具協会世界大会のイベントを行う。

- ・【新】一般スポーツ団体との参画と交流
- ・障害者アスリートへの支援
- ・障害者スポーツ出前講座の実施

② (拡) 東京パラリンピック準備事業

- ・スーパーアスリート特別強化支援事業
- ・【新】東京パラリンピックフラッグツアー

- ・【新】県パラリンピック聖火リレー実行委員会の設置

③ 地域における障害者スポーツ推進拠点整備事業

- ・ 体育館等バリアフリー化
特別支援学校等の既存の体育施設を障害者スポーツ団体に開放する際に必要となる手すり・スロープ等を整備
- ・ 障害者スポーツ推進拠点支援員の設置
競技指導・助言、利用にかかる各種事務手続き

(8) (新) 新たな障害者スポーツ拠点の検討 (500千円) <県政150周年記念事業>

障害者の参加を前提としたワールドマスターズゲームズ2021関西を見据え、新たな障害者スポーツ拠点の整備を検討

- ・ 検討委員会の構成、検討内容
学識経験者、障害者スポーツ協会等で委員会を構成し、障害者スポーツ拠点の機能、施設の規模、運営方針等について検討を実施
- ・ 整備場所(予定)
県立総合リハビリテーションセンター(神戸市西区)

【審議事項(1)】 平成30年度スポーツ振興団体に交付する補助金について

【根拠】スポーツ基本法（平成23年法律第78号）

第三十五条 国又は地方公共団体が第三十三条第三項又は前条の規定により社会教育関係団体であるスポーツ団体に対し補助金を交付しようとする場合には、あらかじめ、国にあっては文部科学大臣が第九条第二項の政令で定める審議会等の、地方公共団体にあっては教育委員会がスポーツ推進審議会等その他の合議制の機関の意見を聴かななければならない。

兵庫県スポーツ推進審議会条例（平成23年10月7日条例第41号）

第2条 審議会は、教育委員会の諮問に応じ、次に掲げる事項を調査審議する。

(2) 法第35条の規定によるスポーツ団体に対する補助金の交付に関する事項

(千円)

	スポーツ振興団体名	事業名・事業概要	補助率	H29補助金額	H30補助金額	増減額	所管課
1	公益財団法人兵庫県体育協会	公益財団法人兵庫県体育協会運営費補助 県民の体力の向上、児童・生徒の健全な発育及びスポーツ精神の高揚を図り、もって本県スポーツの振興、健康の増進、文化の高揚及び福祉の増進に寄与することを目的とする当該協会に対し、運営費の一部を補助する。	定額	40,648	45,566	4,918	体育保健課
2	公益財団法人兵庫県体育協会	第2期新兵庫県競技力向上事業 選手の発掘からトップアスリート育成までの計画的な指導体制を構築することにより、次世代を担うジュニアアスリートを育成し、競技人口のすそ野を拡大するとともに、トップアスリート層の拡大を図るため新兵庫県競技力向上事業の成果を基盤に、更なる育成・強化事業を推進する。	定額	226,094	226,048	△46	スポーツ振興課
3	公益財団法人兵庫県体育協会	国民体育大会兵庫県選手団派遣事業 国民体育大会の近畿地区の予選会である近畿ブロック大会と本大会に出場する監督・選手派遣費等を補助することにより、本県選手団の活躍を促進し、本県におけるスポーツ振興に大きく寄与することを目的とする。 【国民体育大会】 福井県 (冬季) 北海道 ①第73回本大会 (平成30年9月29日～10月9日) ②第74回冬季大会 (スケート・アイスホッケー・スキー：平成31年1月～2月)	定額	42,632	39,009	△3,623	スポーツ振興課

(次頁へ)

4	公益財団法人 兵庫県体育協 会加盟団体等	「はばタンスポーツ基金」活用事業 「のじぎく兵庫国体」「のじぎく兵庫大会」 の余剰金により創設した「はばタンスポーツ 基金」の運用収入を活用し、全国規模の大会 を誘致することにより、本県選手の競技力向 上に資するとともに、県民に質の高い競技を 観戦する機会を提供する。 [大会名] ① 第26回 JOC ジュニアオリンピックカップ 武術太極拳 大会 ② FUTSAL KOBE FESTA2018 ③ 第72回全日本学生体操競技選手権大会 ④ 2018 兵庫国際ジュニアエーストーナメント ⑤ 2018 女子世界バレーボール選手権大会 ⑥ 第28回全日本古希軟式野球大会	定額	6,000	6,000	0	スポーツ 振興課
		計	315,374	316,623	1,249		

[審議事項（２）]

「兵庫県スポーツ推進計画の取組を進めるための方策」について

＜テーマ＞

スポーツをする子どもの増加と体力の向上	【重点目標 1】
成人のスポーツ実施者の増加	【重点目標 2】
障害のある人のスポーツ参加者の増加	【重点目標 4】

1 スポーツをする子どもの増加と体力の向上【重点目標 1】

- ・ 子どもたちを運動好きにさせる方策

2 成人のスポーツ実施者の増加【重点目標 2】

- ・ 「スポーツクラブ 21 ひょうご」会員数増加への方策

3 障害のある人のスポーツ参加者の増加【重点目標 4】について

- ・ 障害者スポーツとの連携に取り組むスポーツクラブ 21 ひょうごの増加への方策